

ごあいさつ

本年度、東西条小学校 校長として2年目を迎えました下田健一郎と申します。昨年度に引き続き、どうぞよろしくお願いいたします。

さて、令和7年度の東西条小学校は、80名の1年生を迎え、全校児童520名、22学級でスタートしました。本校の学校教育目標は「夢と志をもち、グローバル社会を挑戦し続ける児童の育成」です。校訓は「学ぶ・鍛える・仲良く育つ」で「えがおいっぱい」の学校を目指しています。

4月8日は、午前中に就任式と始業式、午後には入学式を行いました。始業式では、2年生から6年生に、今年度大切にしたい「テーマ（合言葉）」を伝えました。それは「**CAN DO（感動）**」です。「感動」をローマ字で書くと「CANDO」となり、これを英語で読むと「CAN DO」です。「CAN DO」には、「やればできる!」という意味があります。

You can do it. = あなたならできる! We can do it. = 私たちはできる! 「CAN DO」には「挑戦する」「自信をもつ」という意味も含まれます。

そして、2年生から6年生の子ども達には、次のように伝えました。

この一年間で、みなさんの「挑戦する姿」「頑張る姿」にたくさん出会いたいです。そして、みなさんが「成長」し「自信」を高めていく姿をたくさん見たいです。それが、私にとっての「感動」につながると思っています。そのために、私は、この1年間がんばっていかうと思っています。

ぜひ、みなさんも、この「CAN DO（感動）」というテーマに向けてのイメージを「自分で」「学級で」「学年で」考えてみてください。

そして、たくさんの「感動」を共に味わっていきましょう。

それは、きっと、校訓の「学ぶ 鍛える 仲良く育つ」を大切にした姿につながりますし、「東西条小学校を『えがおいっぱい』にする」ことにもつながります。今年度も校訓を大切にした姿を追い求めながら、笑顔いっぱいの学校を、みんなで一緒に創っていきましょう。

入学式では、1年生として一番頑張っていることを話しました。それは、「友達のだれとでも仲良くすること」です。仲良くできれば、学校が楽しくなり、自分だけでなく、友達も楽しくなります。友達と仲良く力を合わせて、楽しい学校生活を送りましょうと話しました。



新しい1年のスタートです。児童が安心・安全に学校に通い、未来を生きる力を育ていけるよう、家庭や地域と連携を図りながら、全教職員、心をつなげて、教育活動を進めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

東広島市立東西条小学校
校長 下田 健一郎